

平成 23 年 5 月 6 日

各 位

会 社 名 藤 井 産 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 井 昌 一
 (JASDAQ コード番号 9906)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 社 長 室 長 秋 本 榮 一
 電 話 028-662-6018

特別利益及び特別損失の計上並びに通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

当社は平成 23 年 3 月期決算において、下記のとおり特別利益及び特別損失の計上をするとともに、平成 22 年 11 月 11 日付で発表しました平成 23 年 3 月期通期の業績予想(連結・個別)を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容及び計上額

当社は、平成 23 年 2 月 1 日付で適格退職年金制度から確定拠出年金制度及び退職一時金制度に移行するとともに、退職金規程の改定を行いました。これに伴い、確定拠出年金制度への移行部分について退職給付制度の一部終了の処理を行い、特別利益(連結 207 百万円、単体 207 百万円)を計上する予定であります。

2. 特別損失の内容及び計上額

- (1) 当社グループは、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に関し、事務所・設備等が被害を受け、これらの復旧費用見積額、被災者への見舞金、たな卸資産の損害額、被災地への支援物資等、(連結 56 百万円、単体 50 百万円)を災害による損失として計上する予定であります。
- (2) 当社グループが保有する固定資産(栃木市平柳町、土地)の時価が著しく下落していることから、減損損失(連結 53 百万円)を計上する予定であります。
- (3) 以上により、第3四半期累計期間に計上しております減損損失、投資有価証券評価損、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額に加えて今回計上する予定の災害損失及び減損損失の特別損失合計は連結 171 百万円、単体 111 百万円となる予定であります。

3. 平成 23 年 3 月期の通期業績予想の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	48,100	160	380	150	15 円 51 銭
今回発表予想(B)	48,882	223	563	338	36 円 42 銭
増減額 (B-A)	782	63	183	188	—
増減率	1.6%	39.4%	48.2%	125.3%	—
(ご参考)前期実績 平成 22 年 3 月期	45,635	△181	150	△13	△1 円 39 銭

(2) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	38,400	110	265	70	7 円 24 銭
今回発表予想(B)	38,534	37	313	195	21 円 04 銭
増減額 (B－A)	134	△73	48	125	—
増減率	0.3%	△66.4%	18.1%	178.6%	—
(ご参考) 前期実績 平成 22 年 3 月期	36,889	△131	155	63	6 円 62 銭

4. 差異の理由

(1) 通期連結業績予想の修正について

連結売上高については、施工事業については低調な受注量で計画を下回ることとなりましたが、電設資材、機器制御、土木建設機械事業については設備投資回復の兆しが見え始めたことから計画を上回る見込みとなり、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響についても施工事業については工事の中止や工期の延長等の影響を受けましたが、電設資材事業についての売上への影響は軽微なうちに終了でき、結果としては前回予想を上回る見込みであります。利益面につきましては、売上高の増加により営業利益、経常利益共に前回予想を上回る見込みとなり、当期純利益につきましては、特別利益 211 百万円、特別損失 171 百万円を見込んで 338 百万円となる見込みであります。

(2) 通期個別業績予想の修正について

売上高については、連結業績予想と同様の内容で前回予想を上回ることとなりましたが、営業利益は施工事業について、工事利益率の採算悪化等が響き前回予想を下回る見込みとなり、経常利益は仕入割引等の営業外収益が増加し前回予想を上回る見込みであります。当期純利益につきましては、特別利益 211 百万円、特別損失 111 百万円を見込んで 195 百万円となる見込みであります。

以 上